

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案 件 名：鹿屋市有機農業推進方針（案）
- 2 意見の募集期間：令和7年1月22日～令和7年2月21日（31日間）
- 3 意見提出者：1人
- 4 意 見 数：1件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果 の 区 分	意見等に対する検討結果
1	今後、野菜は車の燃料になる可能性（野菜ジュースから野菜燃料(仮)という概念）もちろんそれは野菜から集積回路の部品を作る技術を発展させたい。 大量の野菜ジュースから災害用飲み水(仮)、災害用水洗トイレの水、災害用のお風呂の水、災害用の消火栓の水、災害用食器洗いの水、災害用手術の水（集中治療室の水緊急用）。平和な時はさつまいもの香水、さつまいもの飲み水、さつまいもの飾るサンプル（食品をデザインして実際に食べる食育学習）(プラスチックのようでポテトチップスのようでゼリーのように透明で) くず(野菜くずを集めて) ⇒ レンガ（野菜レンガ）コンクリート(仮)（野菜+水+砂+？）開発をする。 防護服があるなら、環境対応服（井戸のようにヒンヤリするスーツ(仮)）（もちろん空気の呼吸循環可能対応服、有毒分質をシャットアウトする全身の呼吸ができる安価な野菜スーツ）を開発する。担い手は時間を短くする。 四季が、春、夏、猛暑、灼熱、秋、冬と6つのシーズンに分けて考える。今後、40度以上を想定する。最悪50度位を想定しておく。ハウスでも動けるように体温を下げるスーツ、井戸水の活用（検査を受ける）塩あめを食用水分ドリンク販売機（水を売る自動販機の開発）長靴や靴が温度で変形しない靴を開発。鳥類温度が上昇し過ぎて人をねらいさせないように注意する。	E	御意見として賜り、今後の参考とさせていただきます。

	それと野菜のくずが出たら、野菜の水分とくずと分けて切手か収入印紙にする。Re+water(仮)や、くず(野菜)+硬質化軽量化安価=セメント、コンクリート、ブロック、レンガ リサイクルや建築用資材を開発する。水分は災害用、農業用用水、水洗トイレの水、調査なり実験をする。 冷害は、まず、ある日突然寒くなる時間帯や期間は室内に移動させたり(全部は人手不足、機械のレンタル代をいくらか補助する)また昼間は天候が流動的なのでこれから先、気温が20~30度を想定する。その日一日で0度から30度を考えておく。異常気象にあった商売、凍らない野菜を想定、開発していく。労働力は1時間でもいいので大勢あつめ大勢で終わらせる工夫をする。大勢となると駐車場がある。やっぱり100台位は駐車できる農業駐車場(仮)を想定する開発する それと高校の道路が食糧を運ぶのにデコボコした道路や、やたらに細長い道路になっていないかよく確認する。高校や指定の専門学校の様子を見たり、調査をしたりして確認を取った上、きちんと食糧が届くしくみを確立する。次第に中学校、小学校を確認しつつ改善していきたい。 農業作業班(仮)を創設する。働く時間は4時間~8時間位、体調により30分から1時間を目安にして労働者に伝える。農業も短時間化できそうな所に目をつけてやってみる。すこしずつゆっくりとする。また市民に育てやすい野菜を育ててもらい一定の条件をつけて買取(仮)(鹿屋野菜文化買取制度)野菜は灰にも強い作物、いろりを使用した焼き芋を売る。商品開発コンテストの開催をする。		
--	--	--	--